

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6 年 5 月 1 日

事業所名 子ども発達スクール かすたねっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		設置基準に基づき、適切な指導スペースを確保しております。	
	2	職員の配置数は適切である	○		職員配置数については適切に行っております。 ※有資格者(作業療法士・公認心理師、保育士等)を配置しております。	
	3	事業所の空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		子どもの特性や日々の様子に合わせ調整できる様に留意しています。	
	4	事業所の空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		療育前後に清掃を行っております。 またお子様の入れ替わり時には必ず換気・消毒を徹底しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間および全体ミーティングを行っております。目標設定や必要な業務の抽出し業務改善へと繋げています。また、各々の職員が行動予定を作成し、全体共有しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年、保護者等向け評価表を元にアンケートを実施しております。その結果を元に業務改善に繋げています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公表しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は第三者による外部評価を行っておりませんが、必要に応じて検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		日々の支援内容を発達支援アドバイザーに相談できる体制を整えております。また、月に1回、職員研修会を実施しております。	
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		お子様・保護者様のニーズ・課題について評価及び目標を設定し個別支援計画を作成しております。また、半年に一回モニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		専門職による観察と評価を実施しています。また必要に応じてK-ABCⅡ等のアセスメントツールも合わせて使用しております。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		お子様と保護者様とのニーズを踏まえ、個別支援画にはガイドラインに示されている必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定しております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に沿って支援を実施しております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		作業療法士・公認心理師・特別支援教員・保育士が連携し、専門性を活かしながらお子様に合わせたプログラムを立案しております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		同じ題材を用いた活動でも取り組み方法を変化させ実施しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		お子様の状況に応じて個別療育と集団療育を組み合わせ、個別支援計画を作成しております。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		zoomなども利用し、共有事項に漏れがない様に行っております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		業務終了後の申し送りの際に、お子様の様子や支援方法の振り返りを全員で確認し共有しております。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援内容だけでなく、体調や集団場面での様子まで記録をつける様にしております。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		療育の際に、保護者様から近況を聞き取ることに加えて、半期ごとにモニタリングを実施し個別支援計画の見直しを行っております。また、日々の申し送りの際にも気づいた点を共有し、定期的に発達支援アドバイザーが支援内容を確認し、目標設定と振り返りを行う機会を設けています。	
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に出席する際には、ケース担当が参加する様にしています。またケース担当の出席が難しい場合には、出席者に情報を引き継ぐ様にしております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		母子通所のため、保護者様を介して情報共有、連絡調整を行っております。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		自閉症児を中心として発達障がい児を主たる対象児としているため、医療的ケアが必要な子どもの利用はございません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		自閉症児を中心として発達障がい児を主たる対象児としているため、医療的ケアが必要な子どもの利用はございません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様のご希望がある場合、実施しております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		小学校への移行時には、必要に応じて関係機関連携の場を設けるなど、お子様の情報共有と相互理解を図りました。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じてケース会議を実施し、連携しております。また、研修会等は日程が合えば参加する様にしております。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		所属先の幼稚園・保育園で集団生活や交流を行っているため、当事業所での必要性は低いと考えております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		研修会等日程が合う際には参加できる様にします。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の療育時にお子様の状況を保護者様とお話する機会を設けています。また、必要に応じて相談の機会を設けて共通理解を図る様にしております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		環境設定や声かけの仕方等、お子様に合わせた支援方法を療育後にフィードバックしています。また、お子様の年齢に応じた保護者研修会も実施しております。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画の目標と支援内容については保護者様から同意を得た上で療育を実施しております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて事業所内相談にてお話をうかがう機会を設定しております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ禍や子供の年齢が低く受容できていない保護者もいるため、必要な時・人に連携を支援している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		体制を整備し、変更がある場合には事前に周知する様に努めております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		必要に応じてLINEや掲示板にて周知する様にしています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		事業所で保有する個人情報は鍵付き棚に保管し、厳重に管理しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		来所時にお子様・保護者様とお話する機会を設ける他に、電話やLINE等を使用し、お子様・保護者様との意思疎通や情報伝達がしやすい環境を整えております。また、お子様に合わせて、視覚支援等の配慮を行っております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、子ども達が育てた野菜の販売などを予定している。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを策定し、保護者様にも周知できるよう、契約時に説明を行っております。避難訓練については、定期的に地震・	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火事・水害を想定し実施しています。実施時期については、お子様・保護者様へ掲示板にてアナウンスしています。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に服薬や予防接種、てんかん発作等については保護者様にアセスメントシートにて確認しております。また、療育開始前に、保護者様に体調の変化等ないか必ず聞き取り療育を実施しております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時にアレルギー確認書を保護者様に記入して頂き、食物を提供する際には保護者様に確認・同意を得てから実施しています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎日の療育終了後も申し送りの際に、職員間でヒヤリハットを確認する時間を設定しております。ノートに記録し、いつでも全員が確認できるようにしております。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止の職員研修会を実施しております。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			身体拘束に関する研修を実施しました。ただし、基本的に身体拘束を行わないという考えのもと、支援を行っております。やむを得ない場合には、お子様の自尊心を傷つけないよう、慎重な対応が必要だと考えております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。